

新しい福岡県立美術館が生まれる、 そのプロセスを目撃しよう。

新福岡県立美術館整備事業
基本設計プロポーザル 公開審査 (二次審査) 最終

傍聴者募集

建設予定地

2023年1月21日(土)
12:00~17:30 (予定)

西鉄ホール 〒810-0001
福岡県福岡市中央区天神2丁目11-3 ソラリアステージビル 6F

傍聴をご希望の方は下記のフォームからお申込みください。

会場傍聴 申込フォーム

URL https://fihb.f.msgs.jp/webapp/form/22521_fihb_325/index.do

申込期間 ~2023年1月11日(水) 17:00 (会場傍聴)

web配信傍聴 申込フォーム

URL https://fihb.f.msgs.jp/webapp/form/22521_fihb_326/index.do

申込期間 ~2023年1月18日(水) 17:00 (web配信傍聴)

定員
会場傍聴

100名
web配信傍聴

500名



会場



web



新福岡県立美術館整備事業基本設計プロポーザル公開審査（一次審査）の様子

一次審査時の委員のコメントより抜粋

「福岡県立美術館のコレクションに対する理解が非常に大事」

「いろんな層の人へのアクセシビリティ」

「観る観られる関係と、大濠公園と六本松の双方に向かう歩行動線の誘導」

「人類とともに成長していく建物はなにかみたいな、そういう余白のあるもの」

「関係性というものから編み出される建築」

「フレキシビリティをちゃんとシステムとして持っている、柔軟い考え方」

「どのように建築家なりデザイナーなりの所作を挟み込んでいくかという、その哲学」

福岡県では、新しい時代に対応して県民の多様な文化芸術活動のニーズに応えていくため、2029年度の開館を目指し、大濠公園南側に新たな県立美術館を建設します。その設計者には、人々を惹きつける質の高いデザイン力と技術力、創造性を備え、敷地の特性を十分に理解し、創意工夫をもって課題解決にあたることを求められます。そこで、設計者を県内外から広く募る公募型プロポーザルを実施してきましたが、来る2023年1月21日には、この美術館の基本設計に取り組む設計者を選ぶ最終審査を公開で行います。新しい福岡県立美術館が生まれるプロセスを、県民の皆様と共有する機会になることを願っております。

一次審査通過者 (50音順)

株式会社 A S

株式会社 隈研吾建築都市設計事務所

S U E P・昭和設計共同体

西澤・EIKA studio 設計共同体

選定委員 (敬称略・50音順)

委員長 宮城 俊作 東京大学大学院 教授

副委員長 小林 正美 明治大学 教授

委 員 稲庭彩和子 独立行政法人国立美術館 本部主任研究員

委 員 内田まほろ 一般財団法人JR東日本文化創造財団
高輪ゲートウェイシティ(仮) 文化創造棟準備室長

委 員 坂井 猛 九州大学大学院 教授

委 員 島 敦彦 国立国際美術館 館長

委 員 中村 拓志 株式会社NAP建築設計事務所 代表取締役

※「新福岡県立美術館整備事業基本設計プロポーザル」についての詳しい情報は下記 URL の web サイトをご覧ください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/bid-info/shinkenbi-propokoubo.html>

※公開審査の傍聴者募集に関してはオモテ面をご覧ください。

撮影：山中慎太郎 (Qsyumi)